

# 河村式作文プリント

## 寄せられた困難事例へのアドバイス紹介

### 「こちらが示した例から一つを選べない」

Q：作文で書き詰まった時、「どちらか一つを選んで書いてみて」と黒板に例を書き出す、あるいはダウンロード資料のポスターを壁に貼り出し「どれか一個を選んで書いて」というように、選ばせる指導をしてみました。しかし、ずっと選べず、固まってしまいます。「あと1分で選ぼうか」等と時間制限をしてみてもなかなか動けず、むしろより一層硬くなってしまう様子です。

A：このようなケースの場合、選択した結果がベストでなくても悪い思いはせず、パッと選んだらむしろ良い思いをした、という経験をたくさん積ませる必要があります。

まず、選択肢の数を2つに減らし、一方を明らかにミスである選択肢にします。例えば仲良しの子と遊んだという内容の日記で「どう思った」か書く時「楽しかった・憎たらしかった、どっちにする？」というような感じです。こうすると選択すべき単語が明らかなのでパッと選択しやすくなります。その上で「すごい！今日は4秒で選べた！」というように、素早く選べたことを称賛していきます。

その上で徐々に選択肢を増やしていきますが、このプロセスでまた石のように固まってしまう子がいます。このような場合、「3秒見て選べないということはベストは無い→一番上の単語を選ぶ」というように、シンプルな約束事をあらかじめ決めておきましょう。